

アクション油ヶ淵2017開催報告

日 時 平成29年7月22日（土） 午前9時30分～午後3時
場 所 安城産業文化公園デンパーク、半場川
協力団体 油ヶ淵漁業協同組合、東端町内会、アイツ・イー・ダブリュ株式会社
合同工業株式会社
参 加 者 油ヶ淵流域の住民を中心とした一般県民 約840名

○ 開会式

主催者である愛知県環境部水地盤環境課長から開会にあたり挨拶させていただき、また、ご来賓の今井愛知県議会議員、石井愛知県議会議員よりご祝辞をいただきました。

[ご出席いただいた来賓の皆様]

愛知県議会議員 今井 隆喜 様（安城市選出）

愛知県議会議員 石井 拓 様（碧南市選出）



○ 「半場川で魚と遊ぼう！」（講師：阿部 夏丸 氏）

※協力：アイツ・イー・ダブリュ株式会社、合同工業株式会社

童話作家の阿部夏丸さんから紙芝居を交えた川にすむ生きもの解説を聞いた後、油ヶ淵の流入河川の半場川に入って生息する生きものとふれ合いました。川の中では、皆さん夢中になって魚を追いかけていました。



○ 生きもの講座「油ヶ淵の生きものでミニビオトープを作ろう！」

(講師：Bio Garden With 宮田 賢輔 氏)

環境カウンセラーの宮田賢輔さんと油ヶ淵流域に生息する生きものでミニビオトープを作りました。ケースの中に、砂や水草、シジミ、エビ、メダカなどを順番に入れながら、それぞれの役割や、生きもの同士が関わっていることなどを学びました。



○ 生きものタッチプール ※協力：油ヶ淵漁業協同組合

池に入って油ヶ淵に生息しているコイやナマズといった魚とふれ合いました。魚と一緒に泳ぎながらふれ合っているお子さんの姿も見られました。



○ 油ヶ淵スタンプラリー

油ヶ淵の水とジュースを薄めた水の水質調査をしたり、油ヶ淵に関連するクイズを解いたりしながら、油ヶ淵の水質や環境などについて理解を深めました。



○ 参加者の声

- ・ スッポン、セイゴ、ナマズなどのいろいろな魚が捕まり、思ったより種類が多く驚いた。
- ・ なかなか川に入る機会がないので、もっと川に入っていたかった。
- ・ 捕まえた魚の説明をもっと聞きたかった。
- ・ もっと川が汚いと思っていたが、意外にきれいだった。
- ・ 生物の由来等勉強になった。
- ・ 今の川は、コンクリート張りがほとんどだが、半場川のこの場所は自然な状況が残されている貴重な場所であるため大切にしたいと思った。
- ・ 子どもも親も楽しく、普段考えない生きものの大切さを学べてとても良かった。全ての生きものが繋がって支え合っていること、考えさせられました。
- ・ 実際に1つずつミニビオトープを仕上げていくのは、理解度プラス楽しみがあった。
- ・ 子どもが分かりやすく生きものの繋がりを学びました。
- ・ 大人でも知らない事もあり、勉強になりました。
- ・ 油ヶ淵についてあまり知らなかったので勉強になり、また水の大切さを感じた。
- ・ 油ヶ淵の状態や活動を知る事ができた。
- ・ 水の水質調査が分かりやすくて良かった。実際に実験をしたので良く分かった。
- ・ 浄化槽の見本などがあり、子どもも興味深そうに見ていた。
- ・ ジュースなどを直接川に捨ててはだめだと強く思った。
- ・ これからもきれいな川になるように、ゴミを出さないように生活をしていきたい。

など